

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 24 年 2 月 16 日 (2012.2.16)

【公開番号】特開 2010-148071 (P2010-148071A)
 【公開日】平成 22 年 7 月 1 日 (2010.7.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-026
 【出願番号】特願 2008-326585 (P2008-326585)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/04 1 0 1

G 0 6 T 1/00 4 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

光の 3 原色それぞれを発光する発光手段から画像原稿に光を照射して、受光手段により前記光の反射光を受光することにより、前記画像原稿を読取る画像読取方法であって、

前記発光手段により光の 3 原色それぞれを順に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る原色読取方法に従う画像読取と、前記発光手段により光の 3 原色の内、3 つの異なる組み合わせの 2 原色ずつを同時に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る補色読取方法に従う画像読取との、少なくともいずれかを行う読取工程と、

前記画像原稿に対する画像読取を 2 回、行う場合に、前記画像原稿に対する 1 回目の画像読取を前記補色読取方法を用い、前記画像原稿に対する 2 回目の画像読取に対する読取を前記原色読取方法を用いて実行するように、読取方法を切り替える切り替え工程とを有することを特徴とする画像読取方法。

【請求項 2】

画像読取を行う際の条件を設定する設定工程と、

前記設定工程において設定された条件に従って前記読取工程における読取を行い、前記画像原稿に対する 2 回目の画像読取を行う際の条件を前記画像原稿に対する 1 回目の画像読取を行う際の条件と異ならせるように再設定を行う再設定工程とをさらに有することを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取方法。

【請求項 3】

前記画像原稿に対する 1 回目の画像読取により得られた画像データを解析する解析工程と、

前記解析工程において得られた解析結果を前記再設定工程における再設定に反映させる反映工程とをさらに有することを特徴とする請求項 2 に記載の画像読取方法。

【請求項 4】

画像読取の動作モードを指定する指定工程をさらに有し、

前記設定工程では、前記指定工程において指定された動作モードに従って画像読取を行う際の条件を設定し、

前記画像読取の動作モードには、自動で画像処理条件を作成するためのモードである自動加工カラーコピーのモードと、網点原稿を読取る網点原稿読取のモードと、写真原稿を高解像度で読取る写真原稿読取のモードとを含むことを特徴とする請求項2又は3に記載の画像読取方法。

【請求項5】

光の3原色それぞれを発光する発光手段から画像原稿に光を照射して、受光手段により前記光の反射光を受光することにより、前記画像原稿を読取る画像読取装置であって、

画像読取を行う際の条件を設定する設定手段と、

前記設定手段によって設定された条件に従って、前記発光手段により光の3原色それぞれを順に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る原色読取方法に従う画像読取と、前記発光手段により光の3原色の内、3つの異なる組み合わせの2原色ずつを同時に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る補色読取方法に従う画像読取との、少なくともいずれかを行う読取手段と、

前記画像原稿に対する画像読取を2回、行う場合に、前記画像原稿に対する1回目の画像読取を前記補色読取方法を用い、前記画像原稿に対する2回目の画像読取を前記原色読取方法を用いて実行するように、読取方法を切り替える切り替え手段とを有することを特徴とする画像読取装置。

【請求項6】

請求項5に記載の画像読取装置と、

前記画像読取装置によって読取された画像を表す画像データ、或は外部から入力された画像データに基づいて記録媒体に画像を記録する記録手段とを有することを特徴とするマルチファンクションプリンタ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

即ち、光の3原色それぞれを発光する発光手段から画像原稿に光を照射して、受光手段により前記光の反射光を受光することにより、前記画像原稿を読取る画像読取方法であって、前記発光手段により光の3原色それぞれを順に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る原色読取方法に従う画像読取と、前記発光手段により光の3原色の内、3つの異なる組み合わせの2原色ずつを同時に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る補色読取方法に従う画像読取との、少なくともいずれかを行う読取工程と、前記画像原稿に対する画像読取を2回、行う場合に、前記画像原稿に対する1回目の画像読取を前記補色読取方法を用い、前記画像原稿に対する2回目の画像読取に対する読取を前記原色読取方法を用いて実行するように、読取方法を切り替える切り替え工程とを有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また他の発明によれば、光の3原色それぞれを発光する発光手段から画像原稿に光を照射して、受光手段により前記光の反射光を受光することにより、前記画像原稿を読取る画像読取装置であって、画像読取を行う際の条件を設定する設定手段と、前記設定手段によって設定された条件に従って、前記発光手段により光の3原色それぞれを順に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る原色読取方法に従

う画像読取と、前記発光手段により光の３原色の内、３つの異なる組み合わせの２原色ずつを同時に前記画像原稿に照射し、前記画像原稿からの反射光を前記受光手段により読み取る補色読取方法に従う画像読取との、少なくともいずれかを行う読取手段と、前記画像原稿に対する画像読取を２回、行う場合に、前記画像原稿に対する１回目の画像読取を前記補色読取方法を用い、前記画像原稿に対する２回目の画像読取を前記原色読取方法を用いて実行するように、読取方法を切り替える切り替え手段とを有することを特徴とする画像読取装置を備える。